

平成 24 年 12 月 21 日

各 位

会 社 名 三菱マテリアル株式会社  
代表者名 取締役社長 矢尾 宏  
(コード番号 5711 東・大証第 1 部)  
問 合 せ 先 広報・IR 部 課長 松原尚人  
( 電 話 番 号 03-5252-5206 )

米国セメント・生コンクリート事業強化のための  
ロバートソン・レディ・ミックス社完全子会社化について

当社は、当社連結子会社である米国三菱セメント開発社（出資割合 当社 70%、三菱商事株式会社 30%。以下「米国セ開発社」）を通じて持分を有し、米国カリフォルニア州で生コンクリート・骨材事業を展開する当社連結子会社のロバートソン・レディ・ミックス社（出資割合 米国セ開発社 70%、トローシュ・ファミリー30%、以下「RRM」）を、米国セ開発社の完全子会社とすることを本日決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 持分取得の概要

- (1) 取得対象：RRM の相手方パートナーであるトローシュ・ファミリー側持分
- (2) 取得割合：30%（米国セ開発社の持分は、現行の 70%から 100%に増加）
- (3) 取得時期：2012 年中に完了予定
- (4) 取得金額：約 6 億ドル

2. 取得の理由

- (1) 当社セメント事業部門では、「環太平洋地域におけるメジャープレイヤー」を目指し、日本では環境リサイクル事業の拡大、最適生産・販売体制の再構築による収益基盤の強化、米国ではセメント製造・輸入販売から生コンクリート・骨材事業まで手掛ける垂直統合の強みを発揮し、特に川下分野を強化・拡大することを基本戦略としております。

当社米国セメント・生コンクリート事業は、建設需要の拡大を背景として 2000 年代に飛躍的な成長を遂げる中、事業基盤の更なる強化を目的として、2008 年に RRM に対する出資比率を 70%まで引き上げ、当社グループ事業として取りこみました。

- (2) 米国では金融危機以降セメント需要は大幅に減少しましたが、長らく低迷していた住宅市場も底入れし、昨年から民需を中心に需要は増加に向かっており、需給が改善する兆しを示しております。

米国でのセメント需要拡大の原動力は移民等による人口増加に伴う住宅建設、インフラ整備ですが、当社の主な事業展開地域でありますカリフォルニア州政府が公表している人口推計によりますと、同州では、2040 年には対 2010 年比で約 30%の人口増加が予想されております。

今後のセメント需要は雇用情勢の改善なども相俟って、回復は力強さを増し、安定的に増加を続ける見通しにありますので、長期的な需要は人口増加を原動力として拡大トレンドにあると予想されております。

- (3) RRM は、金融危機の影響を強く受けた南カリフォルニア地域の生コンクリート市場の縮小に伴い、収益の低下は避けられませんでした。一方、豊富な骨材資源を自社で保有するという競争優位性を活かし、現地での市場シェアを更に高めております。

今後の米国セメント・生コンクリート市場の見通しを踏まえ、成長に向けた事業機会の取り込みを推進すると共に、RRM の事業、資産を最大限活用して、当社米国セメント・生コンクリート事業の効率性を向上させていくことが不可欠であると判断し、RRM を完全子会社化することにいたしました。

### 3. 米国三菱セメント開発社の概要

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| ① 社名  | MCC Development Corporation |
| ② 代表者 | キムボール・マクラウド（社長）             |
| ③ 所在地 | 米国ネバダ州ヘンダーソン市               |

### 4. ロバートソン・レディ・ミックス社概要

|                         |                                    |
|-------------------------|------------------------------------|
| ① 社名                    | Robertson's Ready Mix, Ltd.        |
| ② 代表者                   | ジョン・トローシュ（社長）                      |
| ③ 所在地                   | 米国カリフォルニア州コロナ市                     |
| ④ 設立年月日                 | 1992 年 1 月 1 日                     |
| ⑤ 出資者及び出資比率             | 米国三菱セメント開発社 70%<br>トローシュ・ファミリー 30% |
| ⑥ 主な事業の内容               | 生コンクリート・骨材の製造・販売                   |
| ⑦ 決算期                   | 12 月                               |
| ⑧ 純資産                   | 約 2 億ドル（2011 年 12 月期）              |
| ⑨ 総資産                   | 約 3 億ドル（2011 年 12 月期）              |
| ⑩ 売上高                   | 約 4 億ドル（2011 年 12 月期）              |
| ⑪ EBITDA（利払前・税引前・償却前利益） | 約 1 億ドル（2011 年 12 月期）              |
| ⑫ 従業員数                  | 約 1,500 名                          |
| ⑬ 主な事業地域                | 米国カリフォルニア州ロサンゼルス周辺各郡               |

### 5. 今後の見通し

RRM は既に当社連結子会社であるため、今般の持分取得による今年度業績に対する影響は、軽微であります。来年度以降は、RRM の今年度業績を前提とすると連結当期純利益で 10 億円程度の増加が見込まれます。

なお、今般の持分取得については、これを実行する米国セ開発社において米国会計基準に基づく会計処理が適用され、資本取引となることから、平成 25 年 3 月期決算において、約 300 億円の当社連結資本剰余金等の減少影響が見込まれます。

#### <将来に関する記述等についての注意事項>

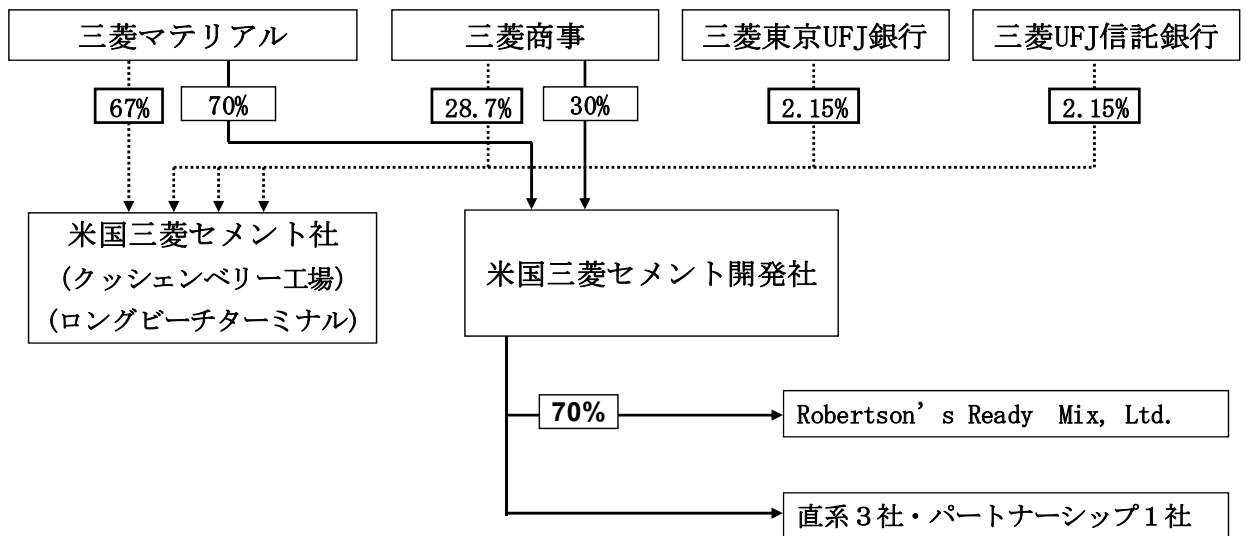
本資料における業績見通し等に関する記載は、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績等は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料記載内容と大きく異なる可能性があります。

以 上

(ご参考)

1. 出資図

(1) 現行



(2) 取得後

